

チャレンジ！！オープンガバナンス 2024 市民／学生応募用紙

自治体提示の地域課題名(注1)	No.	自治体提示の地域課題名	自治体名
		地域資源を活かしたまちづくりと観光の魅力化	裾野市
チームがつけたアイデア名(公開)(注2)	どうしたら裾野市を知ってもらえるか		

(注1) 地域課題名は、COG2024 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。これは自治体提示の地域課題名とは別です。

1. 応募者情報 下の欄のうち選択肢項目は右のドロップダウンで選んでください

チーム名(公開)	万福		
チーム属性(公開)	1. 市民、2. 市民／学生混成、3. 学生 ドロップダウン選択一		2. 学生
チームメンバー数(公開)	4 名		
代表者(公開)	芹澤愛来		
メンバー(公開)	工藤美羽、澁谷志鷹、坂田創		

【注意書き】※ 必ず応募前にお読みください。

＜応募の際のファイル名と送付先＞

1. 応募の際は、ファイル名を COG2024_応募用紙_具体的チーム名_該当自治体名にして、COG2024 のウェブサイトにある【応募フォーム】からアップロードしてください。

＜応募内容の公開＞

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者および公開に同意したメンバー氏名（[メンバー一覧ページ](#)を参照）、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について：
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY(表示)4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC(表示—非営利)4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。
(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja> および <https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開しません)
5. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

＜知的所有権等の取扱い＞

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

アイデアの説明が肖像権・著作権等を侵害していないことを確認してください。OKなら右欄の○を選択 ➡ OK

＜チームメンバー名簿：[メンバー一覧ページ](#)＞

チームメンバーに関する情報を該当ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

アイデアの説明は(1)アイデアの内容(活動)、(2)アイデアの理由(なぜなら)、(3)実現までの流れ、の三項目あります。それぞれ書いてください。必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

(1) アイデアの内容(公開)

アイデアは、対象とする課題解決のために、どのような社会的活動(サービス)を行うのかを具体的に示してください。

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容（公開）

将来実現した場合に、新規性があり、実践したくなり、魅力的でわくわくするようなアイデアを求めます。その結果、課題が解決され、社会に良い変化をもたらすことが期待されます。2 ページ以内でご記入ください。

※応募チームとして解決したい課題のポイントを、以下にごく短く書いてください

＜解決したい課題のポイント＞

裾野市の人口が年々減少しているから人口を増やすために知名度をあげる

※以上の課題解決のために『何』をするアイデアか、それを『だれ』が『だれ』に対して『いつ』『どこで』『どのように』行うのか、受益者自身が主体的に関わる視点も視野に入れてわかりやすく書いてください。アイデアが具体的に実行される場面を想定し、説明をお願いします。

（参考）よいアイデアを生むには関連データの分析に加えてデザイン思考によるアイデアを利用する人への共感（使う人の立場になってみること）が大切です。

＜提案するアイデアの内容＞

～『何』をするアイデアか～

sns を利用して裾野市の魅力などの情報を様々な人に発信する

～それを『だれ』が『だれ』に対して～

私達が市外や県外の人たちに対して

～『いつ』『どこで』『どのように』行う～

月1で sns に投稿 知名度をあげるために裾野市の魅力を紹介する

--

2. アイデアの説明（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

次にアイデアを提案する理由（なぜ）について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ2ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

※このアイデアを提案する理由（なぜ）を書いていきます。

※先に書いた『何を』『だれが』『だれに対して』『いつ』『どこで』『どのように』というアイデアの内容を支えるために、『なぜ』このアイデアが有効で、実現する意味があるのか』を、上記のデータを使ってわかりやすく説明します。

＜参考：以下のように理由を書いていきます＞

※根拠：このアイデアがなぜ必要であるか、またはなぜ有効だと考えるのか、その筋道を説明します。

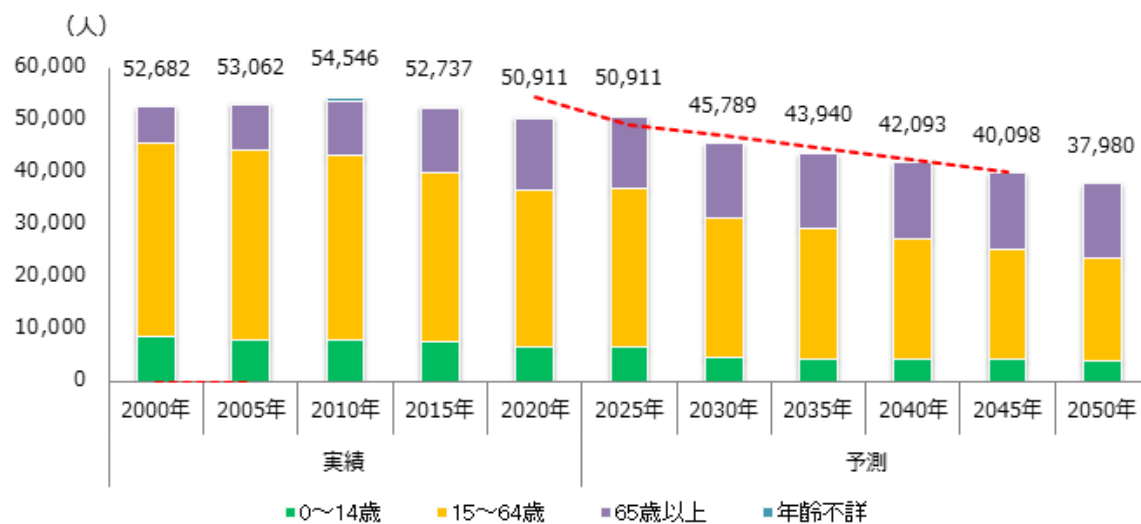
※裏付け：その根拠を支えるために、統計データや報告書、事例などを使って補強します。さらに具体的なアイデアの効果についても、何らかのデータを使うと説得力が増すでしょう。（定性データを含めて歓迎）

裾野市の人口が年々減っていったのを知り、私たちの班では人口を増やすために裾野市の知名度を上げ、市外や県外からの移住者を増やそうと考えました。裾野市の知名度を上げるためにインスタや YouTube などの SNS を利用し市内の人だけではなく市外や県外の人達にも裾野市の魅力や観光地などの情報を発信し知名度を上げる活動を行います。

まず、裾野市内の観光地などを自分たちで調べたり、市役所の方に聞きました。観光地などの情報を発信するだけでは知名度が上がらないと考えました。さらに私たちは移住という視点で観光地だけの魅力を発信するだけでは人口増加には大きな影響を与えられないと考えました。そこで移住先として裾野市に注目してもらえば人口増加に繋がると思い、さらに家族連れの移住を想定した解決方法を提案したいと考えました。なぜなら、学校があることは移住先を選ぶ人からすると重要だからです。その一環としてまずは市内の中学校に行き、先生や生徒にインタビューをしました。インタビューでは中学校の魅力などを聞き、県外から移住してきた人達がその中学校に通いたいと思えるような意見を聞くことが出来ました。この情報を SNS で発信してい

き、市外や県外の人達に裾野市の魅力を伝えていき、知名度を上げ、人口を増やしていきます。

裾野市の人口推移



【2020年】

総面積 (km²) 138

平均年齢 (歳) 46.3

昼夜間人口比率 (%) 106.1

人口密度 (人/km²) 368.6

※昼夜間人口比率のみ2015年時点

※図中の点線は前回2018年3月公表の「将来人口推計」の値 © jp.gdfreak.com

(3) アイデア実現までの流れ(公開)

アイデアを実現する主体、アイデアの実現に必要な資源(ヒト、モノ、カネ)の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの実現にいたる時間軸を含むプロセス、実現の制度的制約がある場合にはその解決策を含め、アイデア実現までの大まかな流れについて、2ページ以内でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

※アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきます

<以下のように分けて書いていきます>

1. 実現する主体
2. 実現に必要な資源(ヒト、モノ、カネ)の大まかな規模とその現実的な調達方法
3. 実現にいたる時間軸を含むプロセス

1. 実現する主体

裾野校生が主体となって活動します

支援団体は裾野市役所の方々

2. 実現に必要な資源(ヒト、モノ、カネ)

ヒト…自分たち

モノ…SNSを利用するから電子媒体

カネ…必要な分

3. 実現にいたる時間軸を含むプロセス

これまでの時間軸

4.5月 テーマの設定

6月 課題に対する仮説

7月 中間発表

8.9月 市役所でのヒアリング

10.11月 裾野西中学校にインタビュー

これからの時間軸

11月 インタビュー結果を市役所の方々に共有

12月 実際にSNSに発信する

1月 最終確認